

日本標準商品分類番号	
87226	
承認番号	22100AMX00515
販売開始	2025年10月

## ポビドンヨード含嗽液

## ポビドンヨードガーグル液7%「東海」

Povidone-Iodine Gargle Solution 7%

## 2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

本剤又はヨウ素に対し過敏症の既往歴のある患者

## 3. 組成・性状

## 3.1 組成

有効成分	100mL 中 日局ポビドンヨード 7g (有効ヨウ素として 0.7g)
添加剤	マクロゴール 400、サッカリンナトリウム、エタノール、香料

## 3.2 製剤の性状

性状 暗赤褐色の澄明な液で、芳香がある。

## 4. 効能又は効果

咽頭炎、扁桃炎、口内炎、抜歯創を含む口腔創傷の感染予防、口腔内の消毒

## 6. 用法及び用量

用事 15～30倍（本剤 2～4mL を約 60mL の水）に希釈し、1 日数回含そうする。

## 9. 特定の背景を有する患者に関する注意

## 9.1 合併症・既往歴等のある患者

## 9.1.1 甲状腺機能に異常のある患者

血中ヨウ素の調節ができず甲状腺ホルモン関連物質に影響を与えるおそれがある。

## 11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

## 11.1 重大な副作用

11.1.1 ショック（0.1% 未満）、アナフィラキシー（0.1% 未満）  
呼吸困難、不快感、浮腫、潮紅、蕁麻疹等があらわれることがある。

## 11.2 その他の副作用

	0.1～5% 未満	0.1% 未満
過敏症	一	発疹
口腔	口腔、咽頭の刺激感	口腔粘膜びらん、口中のあれ
消化器	恶心	一
その他	一	不快感

## 14. 適用上の注意

## 14.1 薬剤使用時の注意

- 14.1.1 用事希釈し、希釈後は早めに使用すること。
- 14.1.2 抜歯後等の口腔創傷の場合、血餅の形成が阻害されると考えられる時期には、はげしい洗口を避けること。
- 14.1.3 眼に入らないように注意すること。入った場合には、水でよく洗い流すこと。

## 18. 薬効薬理

## 18.1 作用機序

水溶液中のポビドンヨード液はヨウ素を遊離し、その遊離ヨウ素（I<sub>2</sub>）が水を酸化して H<sub>2</sub>OI<sup>+</sup>が生じる。H<sub>2</sub>OI<sup>+</sup>は細菌及びウイルス表面の膜タンパク（-SHグループ、チロシン、ヒスチジン）と反応することにより、細菌及びウイルスを死滅させると推定される。

## 18.2 抗菌作用

ポビドンヨードは広範囲な殺菌作用をもち、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、結核菌、真菌、ウイルス等に有効である。

## 18.3 生物学的同等性試験

ポビドンヨードガーグル液7%「東海」と標準製剤について、最小発育阻止濃度（MIC）測定法、石炭酸係数測定法及びKelsey Sykes法により比較した結果、両剤の生物学的同等性が確認された<sup>1)</sup>

## 19. 有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：ポビドンヨード（Povidone-Iodine）

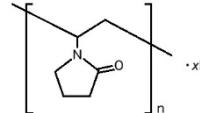
化学名：Poly [1-(2-oxopyrrolidin-1-yl) ethylene] iodine

分子式：(C<sub>6</sub>H<sub>10</sub>NO)<sub>n</sub> · xI

性状：暗赤褐色の粉末で、わずかに特異なにおいがある。水又はエタノール（99.5）に溶けやすい。

本品 1.0g を水 100mL に溶かした液の pH は 1.5～3.5 である。

化学構造式：



## 20. 取扱い上の注意

外箱開封後は、直射日光を避けて保存すること。

## 22. 包装

30mL（ポリ）、250mL（ポリ）

## 23. 主要文献

## 1) 社内資料

## 24. 文献請求先及び問い合わせ先

大成薬品工業株式会社 お客様相談室

福岡県筑後市大字熊野字屋敷998-1

TEL:0942-53-4662

FAX:0942-52-8115

## 26. 製造販売業者等

## 26.1 製造販売元

 大成薬品工業株式会社  
福岡県筑後市大字熊野字屋敷998-1